

ジャーナリスト×大阪市民の財産守れ！夢洲格安賃料訴訟原告団長 ～救護所問題を語る～

これで安全守れるの 復興邪魔万博

大阪府在住のフリージャーナリスト・西谷文和氏によるネットラジオ「路上のラジオ」で、西谷氏と大阪市民ネットワーク代表の藤永延代氏が、2024年11月22日に「やっぱり中止すべき！復興邪魔万博」と題して対談した。藤永氏は、大阪府がカシノ業者に市有地・夢洲を格安賃料で貸すのは違法だとして、前市長とカシノ業者を相手取った住民訴訟の原告団長でもある。救護所の問題を中心に編集部がまとめ、大阪府保険医協会・高本英司副理事長からコメントいただいた。



藤永氏



西谷氏

能登はまだに給水車

西谷 僕がめっちゃめっちゃ腹が立ったのは、能登の被災地、まだ大変じゃないですか。地震が起きて水書も大きい。その能登の子どもたちを2泊3日で保護者と一緒万博に来てくれと招待すると。招待に大阪府が5000万円ぐらいの予算をつけている。でもね、能登では水もない、仮設住宅で暮らしている子どもたちがまだいる。2日ほど大阪で泊まらせても、能登に戻ったらまた被災生活やん。

公衆衛生・安全性は未確立

藤永 24年3月28日に会場西側のグリーンワールド工区で起こったガス爆発に続いて、6月28日には環境省が特定外来生物のヒアリ約550匹を発見したと発表している。

誰も責任とらへんつもりやねん。

医師配置の救護所は3カ所

西谷 熱中症も危ないですよ。万博協会がね。「医療救護対策実施計画」を発表してね。1日150人の患者を想定して、診療所を3カ所、応急手当所5カ所を設置すると言っているの。でも、医師の配置は診療所のみで、学年単位で行くねんから。



万博会場救護所配置図＝万博協会HPより

万博協会は秘密主義

藤永 私、大阪市の健康福祉局に聞いたんですよ。熱中症ってね、一人だけ罹かんのちゃうんですよ。食中毒が起ったとして一

大阪府保険医協会・高本英司副理事長のコメント

医師の配置は、災害発生時の拠点となる西ゲート診療所に2名配置する他は、東ゲート診療所及びリング北診療所に原則1名ずつの配置だ。食中毒や熱中症の集団発生のほか、台風やガス爆発・ヒアリ大量発生など大規模災害時にこれだけの体制を維持するのは、延べ医師数は大丈夫か。会場外への搬送は救急車が基本とされているが、アクセスが夢咲トンネルと夢舞大橋の二つしかない中で、交通渋滞の問題は平時の場合でも指摘されてきた。非常時に滞りなく搬送が可能とするのはあまりに判断が甘く無責任ではないか。大阪万博のメインテーマ「いのち輝く」が看板倒れにならないか心配だ。

西谷文和さん「路上のラジオ」はコチラから見られます

西谷文和
路上のラジオ
Radio On The Street

西谷 6カ月で終わるし、みたいな感覚なんですよ。万博では行った人の安心感、みたいな感覚なんですよ。今

発売以来、大きな反響!!

保険医が選んだ本当に必要な防災セット

PRAKTIKER

プラクティカ

即納可能

帰宅／避難型(1DAY)

沿岸部及び、津波の危機を想定される医院向け。東日本大震災でもみられたように即避難の緊急性を要する際を想定した防災セット。避難後1日を過ごせるように設計。

販売価格
39,800円(税別・送料込み)
(税込43,780円)

待機／滞在型(2DAY)

内陸部及び、生活インフラの危機を想定される医院向け。交通網の麻痺時などを想定し、医院や簡易の避難先に1日～2日と定めることを想定し設計された防災セット。

販売価格
45,000円(税別・送料込み)
(税込49,500円)

(オプション) 女性用セット

女性事務局員の意見を取り入れながら、避難時に必要な女性用セットをご用意いたしました。

販売価格
3,000円(税別)
(税込3,300円)

南海トラフ大地震や各地での災害時に備えるため、以前より会員ニーズの高かった防災グッズを、会員・組合員の「声」に基づきオリジナルで開発。防災士の資格を持つ事務局が担当しこだわり抜いた、被災時に本当に必要なものを備えた防災セットが誕生しました。

◎どの防災セットよりも「携帯の充電を切らさない」を意識。
◎「味・質」に、とことんこだわった防災食品。

各セットの内容物の詳細、フォームでのご注文は右記のQRを読み取ってください。
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

大阪府保険医協同組合・M&D保険医ネットワーク
お問い合わせは **TEL.06-6568-2741**
担当：沖田(おきた)・廣川(ひろかわ)・寺内(てらうち)